

.....

|                  |                                                               |
|------------------|---------------------------------------------------------------|
| 1. 負傷事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット事例                                                      |
| 2. 体験した事例の名称     | 火災現場における濃煙内の活動中に床下点検ピットに転落しそうになった事例                           |
| 3. 体験した事例の中心的要素  | 現場作業は夜間の活動であり、また、濃煙のため十分な視野が確保できなかった。火点検索に気の焦りがあった。           |
| 4. 体験した事例の原因・理由  | 照明機器や排煙機器等で有効な視野を確保することができなかった。また、火点の検索に気をとられ、足元への注意を怠ってしまった。 |

.....

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

.....

|                                   |                           |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                           | 平成 12 年 8 月 26 日 午後 10 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                      | 晴                         |
| 3. 発生した活動現場                       | 屋内：                       |
| 4. 体験した事例の種類                      | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。      |
| 5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。     |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）      | 墜落・転落、                    |
| 7. 事例体験時の活動                       | 火災、耐火造建物、 [ 現場活動初期、 ]     |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか      | その他：火点検索                  |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。  | 初めて体験した。                  |

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                              |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 40 ]歳、 勤続年数[ 16 ]年、 現場経験年数[ 11 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、<br>同様の活動 [ ]、 任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者 B                 | 年齢[   ]歳、 勤続年数[   ]年、 現場経験年数[   ]年、 階級[   ]、<br>同様の活動 [ ]、 任務 [   ]          |
| ○当事者 C                 | 年齢[   ]歳、 勤続年数[   ]年、 現場経験年数[   ]年、 階級[   ]、<br>同様の活動 [ ]、 任務 [   ]          |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |                                                                              |

11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が | なにをした                   | その他・備考など |
|-------|-------|-------------------------|----------|
| 経過 1  | 当事者 A | 火点検索中に床下点検ピットに転落しそうになった |          |
| 経過 2  |       |                         |          |
| 経過 3  |       |                         |          |
| 経過 4  |       |                         |          |
| 経過 5  |       |                         |          |
| 経過 6  |       |                         |          |
| 経過 7  |       |                         |          |
| 経過 8  |       |                         |          |
| 経過 9  |       |                         |          |
| 経過 10 |       |                         |          |

【その事例発生時の状況について】

[illegible]

○負傷事故の場合：負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|            |     |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | はい  |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・ 足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|